

九州大学高等研究院の設立及び九州大学特別主幹教授制度の制定について

概 要

九州大学は、世界的研究教育拠点として学界をリードする卓越した研究成果を上げ、さらにそれらを社会に還元するため、各部局において最大限の努力を重ねてきました。そしてこのたび、新たに、ノーベル賞級の極めて高い研究業績を有する研究者や次世代を担う若手研究者が高度な研究活動を行う場として、部局を超えた全学的な組織として高等研究院を設立しました。

高等研究院は、学内アカデミー機能として、本学の若手からシニアまでの優れた研究者（スーパープログラム（SSP）学術研究員、主幹教授、特別主幹教授（ポストプロフェッサー）、荣誉教授）の参画を得て、

- 1) 高度な研究活動の展開
- 2) 本学の次世代を担う若手研究者の育成
- 3) 本学の卓越した研究成果を、学生を含めた構成員、学外へ広く発信などの実質的な研究と支援活動を展開します。

高等研究院長には香月 勲（かつき つとむ）理学研究院・教授が就任しました。高等研究院に置かれる特別主幹教授には、新海 征治（しんかい せいじ）及び笹月 健彦（ささづき たけひこ）本学名誉教授が就任し、特別主幹教授の称号を授与しました。

■背景

本学が世界的研究教育拠点として、学界をリードする卓越した研究成果を上げ、さらにそれらを社会に還元するため、また、本学の誇る優れた研究者のうち、その専門分野において極めて高い研究業績を有する者、ポスト・プロフェッサー及び本学の次世代を担う若手研究者が実質的かつ高度な研究活動を展開する場として、全学的な組織として平成21年10月1日付けで高等研究院を設立しました。

高等研究院には、高等研究院長、荣誉教授、特別主幹教授及び特別准教授を置きます。

〈荣誉教授〉 ノーベル賞、文化勲章、フィールズ賞、文化功労者、日本学士院賞、日本学士院エジンバラ公賞及び日本芸術院賞を受賞し、社会的に高い評価を受けている者に「荣誉教授」の称号が付与されます。

〈特別主幹教授〉 高等研究院の設立による学則の改定に伴い新設された制度で、ノーベル賞クラスの研究業績を有すると認められる者又は顕著な研究業績を称える賞若しくは顕彰を受けた者で、本学の研究活動への貢献が見込まれる者に「特別主幹教授」の称号を授与します。

〈特別准教授〉 現在、九州大学高等研究機構に所属している九州大学次世代研究スーパースター養成プログラムによる研究プロジェクトに従事する学術研究員（SSP 特任准教授）で、研究プロジェクトに参加し、1)研究スペース・設備・研究費等の研究環境の提供、2)給与面での相応の待遇の保障、3)雇用期間終了後のテニユア・ポスト（准教授）の確保などの支援を受け、自立して独創的な研究を進めています。

■内容

総長の指名により、香月 勲理学研究院・教授が初代高等研究院長に就任しました。

また、役員会の審議を経て、新海 征治及び笹月 健彦本学名誉教授に、このたび初めて特別主幹教授の称号を授与することとなりました。

新海 征治名誉教授は、長年に亘って分子認識化学ならびに集積機能化学の教育に努め、また一貫して先駆的かつ独創的なアプローチによってこれらの研究分野の新領域を開拓し、顕著な業績を上げるとともに、超分子化学の発展に尽力し、多くの貢献をしてきました。とりわけ光により駆動する分子機械の創製や外部刺激に応答し機能する数々の分子の開発は同氏のわが国が世界に誇る成果であり、国の内外で高く評価され、国際的に著名な賞を多数受賞し、平成16年には紫綬褒章を受章しています。また、

平成 12 年には米国 ISI-Thomson Scientific 社が発表している化学分野における「論文被引用度・世界トップ 100 人(1990～2000)」に選ばれています。同氏は、これらの業績により、毎年報道等においてノーベル賞候補者として取り上げられています。

笹月 健彦名誉教授は、免疫遺伝学領域の研究リーダーとして基礎的な研究成果を Nature などに、さらに分子生物学的研究も Science, Cell などにつぎつぎと論文を発表したばかりではなく、臨床医学研究では世界でもっとも権威のある学術雑誌に研究総括責任者として第一著者論文を発表するなど、基礎医学から臨床医学まで幅広く、世界のトップレベルで活躍してきました。これらの業績に対し、日本人類遺伝学会賞のみならず、日本医師会医学賞、武田医学賞、紫綬褒章、パリ市功労賞、米国 Rose Payne Distinguished Scientist 賞など、国内外の権威ある賞を多数受賞しています。また、同氏は研究者として第一線で活躍するのみならず、長年にわたって人類遺伝学と免疫学の教育にも尽くし、多くの優れた若手研究者を育成しています。

特別主幹教授は、総長より委嘱され、当該教授の希望に応じて、研究室（研究・実験スペース）、ポスト、秘書等を提供されるなどの研究活動の支援を受けます。

■効 果

高等研究院は、以下に掲げる事項について研究活動を推進し、学内教員、大学院生等の学術研究に対する意識向上に大いに資することとなります。

1) 高等研究院レクチャー

高等研究院の学術講義として、学内外の優れた研究を取り上げ、学内の教員、大学院生を対象に開催します。

2) 高等研究院セミナー

特別主幹教授、名誉教授等により、最先端研究、研究経験談、研究倫理等について、若手研究者、大学院生の研究推進のため開催します。

3) 大学院初年次講義

学府の協力の下、特別主幹教授、名誉教授、高等研究院アドバイザー等により、「研究の厳しさや、面白さ」について、動機付けのため開催します。

4) 全学教育・社会人教育

必要に応じて、適宜実施します。

■今後の展開

今後も部局等の長からの推薦に基づき、特別主幹教授の選考を行います。学内外の優れた研究経験を有する研究者により組織する高等研究院特別顧問なども併せ、その陣容を充実させ、学内アカデミー機能を強化していきます。

【お問い合わせ】

学術研究推進部学術研究推進課 小野耕志

電話：092-642-2126

FAX：092-642-7090

Mail：gjkikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp